第80期
中間株主通信

平成28年4月1日▶▶平成28年9月30日

―人と地球の未来を考える―

KUMAGAI 熊谷組

工事名:イオンモール出雲　発注者:イオンリテール株式会社

株 主 の 皆 様 へ

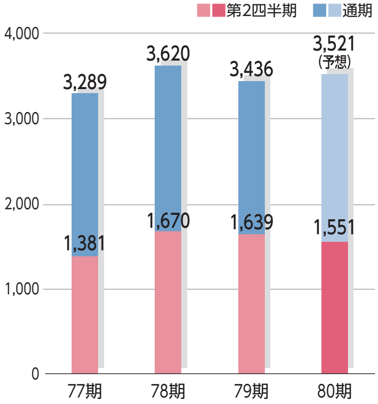
取締役社長　樋口　靖

　株主の皆様には、平素は格別のご支援を賜り、厚くお礼申しあげます。
　さて、当社は平成28年９月30日をもって第80期（平成28年４月１日から平成29年３月31日まで）の前半を終了いたしましたので、ここに上半期の概況についてご報告申しあげます。

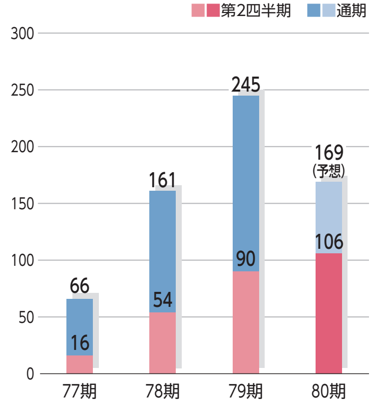
　当上半期におけるわが国経済は、設備投資は企業の慎重な業況判断のもと伸び悩み、輸出も海外経済の不安定さから横ばいとなっておりますが、生産に持ち直しの動きがみられ、雇用・所得環境の着実な改善を背景に個人消費が総じて底堅く推移するなど、景気は緩やかな回復基調を維持しております。
　建設業界におきましては、住宅建設は横ばいながらも、公共投資が高水準にあるほか、企業の建設投資も緩やかながら増加しており、事業環境は引き続き良好な状況にあります。

連結業績ハイライト

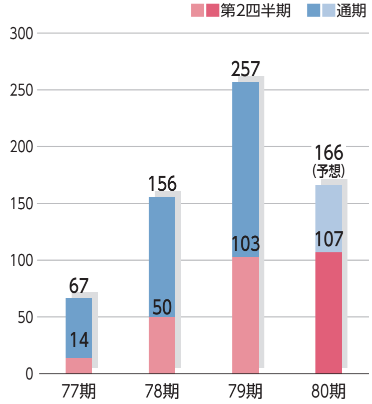
■売上高　（億円）



■営業利益　（億円）



■経常利益　（億円）



当社グループはこのような状況のもと、平成27年5月に策定した「中期経営計画(平成27～29年度)」に基づき、将来に向けた収益基盤の整備に総力を挙げて取り組んでいるところであります。

当上半期の当社グループの連結業績につきましては、売上高は、前年同期比5.4％減の1,551億円となりました。利益は、売上総利益率の改善により、営業利益は同18.1％増の106億円、経常利益は貸倒引当金戻入額の減少などにより同4.0％増の107億円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は偶発損失引当金繰入額など特別損失6億円、法人税等31億円などを加減算し、同11.8％減の70億円となりました。

今後のわが国経済は、欧州や米国における政治の混迷やアジア新興国等の景気下振れがリスクとして存在しますが、雇用・所得環境の改善が続くなかで各種政策の効果もあり、景気の回復基調は持続するものと思われます。

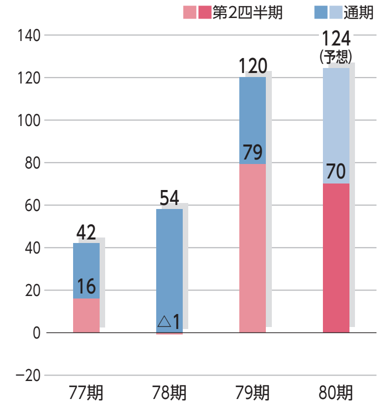
建設業界におきましては、住宅投資は当面、横ばい圏内の動きと予想されますが、企業の建設投資は緩やかながら増加を続け、また、公共投資も関連予算の早期執行や政府より打ち出された新経済対策の効果等により増加に転じることが期待されるなど、事業環境は引き続き良好な状況を保ちつつ推移すると見込まれます。一方で建設技術者・技能者不足の進行や建設コストの上昇といったリスクには引き続き留意する必要があります。

このような状況のもと、当社グループは、「再生」から「成長」に向けて将来にわたり市場環境に影響されない安定した収益力の確保を目指した「中期経営計画(平成27～29年度)」を策定し、将来に向けた収益基盤の整備に取り組んでおります。

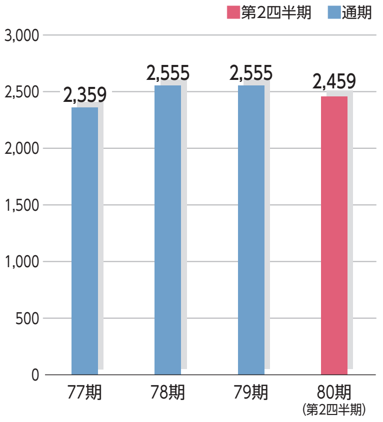
建造物の外形的・機能的な品質はもちろんのこと、そこに集う人、そこを使う人が満足し続けられる「しあわせ品質」を実現すべく「全員参加の経営」をスローガンに、お客様に最高の"感動"をお届けする『建設サービス業』を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申しあげます。

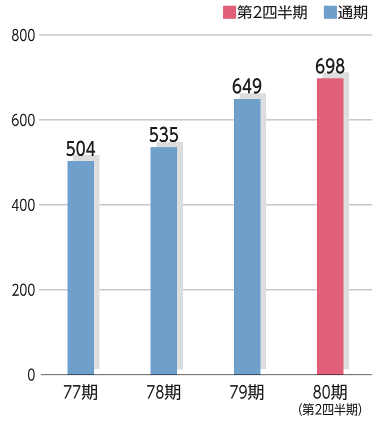
■ 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益　(億円)



■ 総資産　(億円)

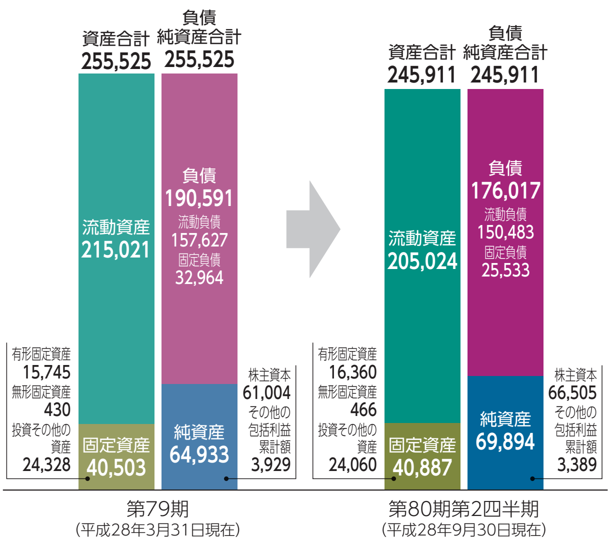


■ 純資産　(億円)



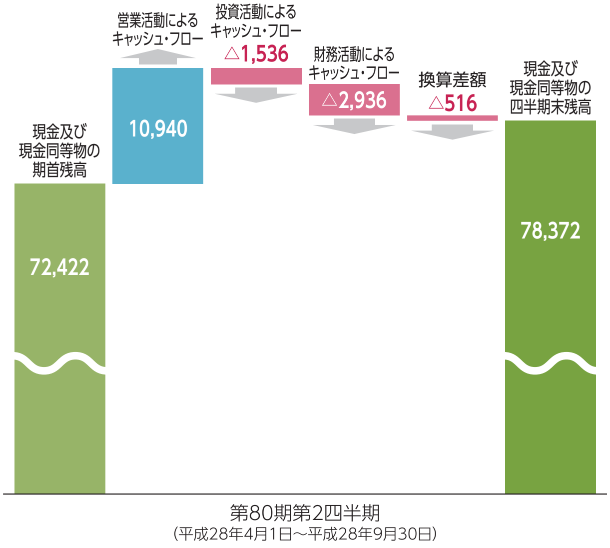
■ 四半期連結貸借対照表の状況

(百万円)



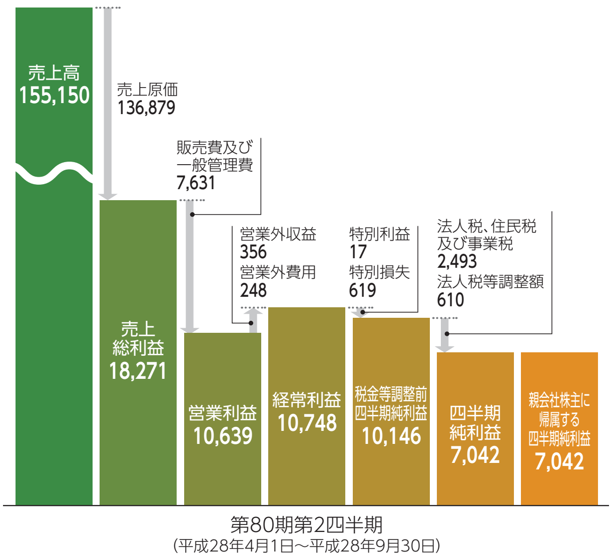
■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書の状況

(百万円)



■ 四半期連結損益計算書の状況

(百万円)



ポイント

■ 四半期連結貸借対照表

総資産は2,459億円と前期末に比べて96億円減少しました。これは、受取手形・完成工事未収入金等の減少などによるものです。また純資産は利益剰余金の増加などにより、前期末に比べて49億円増加の698億円となりました。自己資本比率は前期末に比べて3.0ポイント上昇し28.4%となりました。

■ 四半期連結損益計算書

売上高は前年同期に比べて87億円減少の1,551億円となりましたが、売上総利益率の改善により経常利益は107億円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は法人税等の増加により70億円となりました。

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

仕入債務の増加等により、営業活動は109億円の資金増加となりました。投資活動では有形固定資産の取得による支出などにより15億円の資金減少となりました。財務活動では借入金の返済を進めたことや配当金の支払いなどにより29億円の資金減少となりました。これらの結果、現金及び現金同等物の残高は、前期末に比べて59億円増加の783億円となりました。

単体の業績について

受注高は、前年同期比8.3%増の1,328億円となりました。このうち、土木工事は358億円、建築工事は970億円であり、これらの発注者別内訳は官庁19.9%、民間80.1%であります。

売上高につきましては、同3.3%減の1,245億円となりました。このうち、土木工事は397億円、建築工事は848億円であり、これらの発注者別内訳は官庁33.0%、民間67.0%であります。

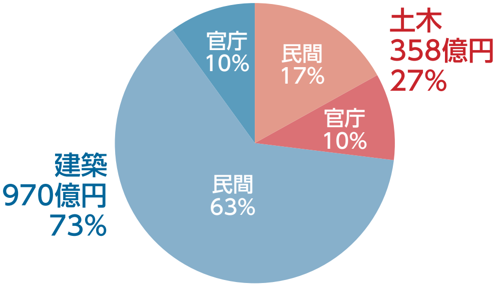
この結果、下半期への繰越高は、同13.8%増の3,335億円となりました。

利益につきましては、経常利益は101億円、四半期純利益は67億円となりました。

■ 損益の状況

区分	80期上半期	前年同期比
受注高	**1,328億円**	(8.3%増)
売上高	**1,245億円**	(3.3%減)
繰越高	**3,335億円**	(13.8%増)
四半期純利益	**67億円**	(14.3%減)

■ 受注高構成



主な受注工事及び完成工事

受注工事

- 度会ウィンドファーム２期工事：コスモエンジニアリング株式会社
- 東大島幹線工事：東京都
- (仮称)大和徳洲会病院新築工事：医療法人徳洲会
- (仮称)木屋町三条計画：合同会社AYG

完成工事

- 富山ライン建設工事の内土木工事(B工区)の内北上シールド②他工事：国際石油開発帝石株式会社
- 紀北西道路上野地区他改良工事：国土交通省
- イオンモール出雲：イオンリテール株式会社
- 斗南病院：国家公務員共済組合連合会

紀北西道路上野地区他改良工事

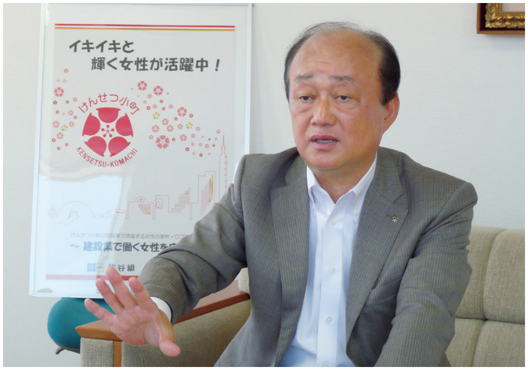
斗南病院

TOPICS ｜トピックス｜

ダイバーシティ推進!
“誰もがイキイキ働ける職場づくり”

当社は平成28年4月にダイバーシティ推進委員会および推進組織としてダイバーシティ推進室を設置し、“誰もがイキイキ働ける職場づくり”の取組みに着手しました。

ダイバーシティ推進委員長を務める、取締役社長 樋口 靖にダイバーシティ推進について聞きました。



安倍政権が「一億総活躍社会の実現」を政策として掲げるようになってからダイバーシティが脚光を浴びています。当社では中期経営計画において、経営インフラ強化戦略として人材の高付加価値化を掲げており、ダイバーシティ推進をその具体的施策の一つとして位置付けております。

少子化、人口減少という時代背景がある中で、多様な人材が持つ能力や特性を活かし、周囲と調和しながらも個人の特色を出してみんなが活躍することにより、熊谷組の特色を出していくことが必要だと考えています。高齢者も障がいのある方も皆が活躍できるようにしていきますが、まずは女性の活躍を推進し、広い範囲でのダイバーシティが実現できれば良いと考えています。

社内で公募し、応募総数101件の中から選定された当社のダイバーシティ推進活動のシンボルマークです。このマークは社内外への発信に活用されています。

当社では以前よりスローガンとして「全員参加の経営」を掲げています。「全員参加の経営」とは社員がそれぞれの立場で経営課題に繋がる役割を持って経営への参画意識を持つことです。この「全員参加の経営」とダイバーシティとは少し意味合いが違うところもありますが目指す方向は同じで、チームワークが良く、一体感のある組織を目指すものです。野球でもサッカーでもラグビーでも、チームワークや一体感があるチームは強い。そういう雰囲気の醸成が必要だと考えています。ダイバーシティを推進していく中で「全員参加の経営」に繋がれば良いと考えています。

また、企業価値向上の視点からみても、ROEや自己資本比率など重要な経営指標がありますが、それらに劣らず心の組織化（一体感の醸成）ができているかどうかも重要であると考えています。ポジションを選ばず、みんなが一致協力できる会社が良いと思います。心の組織化ができれば本当の意味で企業価値が向上すると考えています。

ご希望の方にはCSR報告書をお送りします

本年８月に「熊谷組グループCSR報告書2016」（A4版、48ページ）を発行しました。当社グループの「ものづくり」の取り組み姿勢、環境、社会貢献に関する具体的事例を幅広く紹介しています。

ご希望の方はメールまたはFAXで、「CSR報告書希望」と書き、送付先の郵便番号、住所、氏名を当社下記CSR報告書請求先までお知らせください。

なお、お知らせいただいた個人情報は、CSR報告書の送付のみに使用させていただきます。

●CSR報告書請求先　（メールアドレス）info@ku.kumagaigumi.co.jp
（FAX）03-5261-9665

会　社　の　概　要

（平成28年9月30日現在）

創　　業	明治31年１月
設　　立	昭和13年１月
資 本 金	133億4,116万2,615円
従業員数	2,349名

主要な営業所

本　　店
福井市中央2丁目6番8号
〒910-0006　TEL(0776)21-2700

東 京 本 社
東京都新宿区津久戸町2番1号
〒162-8557　TEL(03)3260-2111

北海道支店
札幌市中央区南1条西6丁目11番地
〒060-0061　TEL(011)261-7271

東 北 支 店
仙台市青葉区上杉5丁目3番36号
〒980-0011　TEL(022)262-2811

首都圏支店
東京都新宿区津久戸町2番1号
〒162-8557　TEL(03)3260-4750

名古屋支店
名古屋市中区栄4丁目3番26号
〒460-8402　TEL(052)238-3011

北 陸 支 店
金沢市広岡2丁目13番5号
〒920-8721　TEL(076)208-3230

関 西 支 店
大阪市西区靭本町1丁目11番7号
〒550-0004　TEL(06)6225-2226

中四国支店
広島市中区大手町4丁目6番16号
〒730-0051　TEL(082)241-3222

四 国 支 店
高松市木太町3027番地1
〒760-0080　TEL(087)862-2011

九 州 支 店
福岡市中央区渡辺通4丁目10番10号
〒810-0004　TEL(092)721-0011

国 際 支 店
東京都新宿区津久戸町2番1号
〒162-8557　TEL(03)3235-8639

技術研究所
つくば市鬼ヶ窪1043番地
〒300-2651　TEL(029)847-7501

海 外 拠 点
中国(香港)、台湾、ベトナム、スリランカ、ミャンマー

役　員　の　状　況

（平成28年9月30日現在）

取締役及び監査役

取締役社長(代表取締役)	樋口　靖	取締役	広西光一
取締役副社長(代表取締役)	石垣和男	取締役	湯本壬喜枝
専務取締役	小川　晋	常勤監査役	竹間忠尚
専務取締役	堀田俊明	常勤監査役	吉川　司
常務取締役	櫻野泰則	監査役	垣見　隆
常務取締役	嘉藤好彦	監査役	鮎川眞昭

(注)取締役広西光一及び湯本壬喜枝の両氏は社外取締役、監査役垣見隆及び鮎川眞昭の両氏は社外監査役であります。

執行役員

※執行役員社長	樋口　靖	執行役員	飯田　宏
※執行役員副社長	石垣和男	執行役員	西川邦隆
※専務執行役員	小川　晋	執行役員	石澤正通
※専務執行役員	堀田俊明	執行役員	林　克彦
※常務執行役員	櫻野泰則	執行役員	日髙功二
※常務執行役員	嘉藤好彦	執行役員	岸　研司
常務執行役員	渋川　智	執行役員	梶山雅生
常務執行役員	小川嘉明	執行役員	大塚拓美
常務執行役員	髙嶋正彦	執行役員	上田　真
常務執行役員	山崎　晶	執行役員	大野雅紀
執行役員	大島邦彦	執行役員	岡市光司
執行役員	土屋良直		

(注)※印は取締役兼務であります。

●ホームページのご案内

http://www.kumagaigumi.co.jp

当社ホームページでは、ニュースリリースをはじめ、詳しい事業内容やIR情報などを適時、掲載しています。

トップページ

投資家情報

株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について

●**証券口座にて株式を管理されている株主様**
お取引の証券会社までお問い合わせください。
●**証券会社とお取引がない株主様**
右記の電話照会先にご連絡ください。

マイナンバー制度に関するお手続きについて

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きで必要となります。このため、株主様からお取引の証券会社等へマイナンバーをお届出いただく必要がございます。

マイナンバーのお届出に関するお問い合わせ先
●**証券口座にて株式を管理されている株主様**
お取引の証券会社までお問い合わせください。
●**証券会社とお取引がない株主様**
右記の電話照会先にご連絡ください。

単元未満株式の買増請求のお取扱いについて

単元未満株式(1,000株未満の株式)をご所有の場合、その単元未満株式数と併せて単元株式数(1,000株)となる株式数について、当社に買増請求をすることができます。
●**証券口座にて株式を管理されている株主様**
お取引の証券会社までお問い合わせください。
●**証券会社とお取引がない株主様**
右記の電話照会先にご連絡ください。

株主メモ

事業年度	毎年４月１日から翌年３月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会　毎年３月31日 剰余金の配当　毎年３月31日 そのほか必要あるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目４番１号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目４番１号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部
（郵便物送付先）	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目８番４号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部
（電話照会先）	0120-782-031
（インターネットホームページURL）	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
公告の方法	当社のホームページに掲載します。 <http://www.kumagaigumi.co.jp/> ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
上場証券取引所	東京証券取引所

表紙写真　**工事名:イオンモール出雲　発注者:イオンリテール株式会社**
島根県出雲市に延床面積約６.７万㎡のエンタテイメントモールを施工しました。
外観を、格子模様をベースにした出雲らしさを表現したデザインとしたほか、館内に、島根県の伝統工芸を発信する「シマネＲプロダクト」とコラボレーションした内装を取り入れるなど、出雲ならではの素材感を演出したデザインを採用しました。

UD FONT